



こうべ森の学校だより

No.104

2022年8月号

発行人:こうべ森の学校 編集委員会

発行所:神戸市北区山田町下谷上上中一里山 4-1

神戸市森林整備事務所内

Tel:078-321-5937 Fax:078-371-1087

6月例会



6月19日、
34名が集合。

今月も、新会員1人が
加入です。
先日、環境学習を
体験した生徒と先生
も再訪です。
(中段、右側に)
嬉しいですね!!



午後、自然観察組は、
仙人谷コースで、ナル
コユリを発見、花に見
入っています



🌲 新会員のご紹介 🌲

「六甲山 これからの100年の森をいっしょに育てましょう」の文字をHPで見つけて、私も参加してみたい！と思い、お試して参加を申し込みました。

初日は安全マニュアルの冊子をいただき、木の伐り方など安全作業のポイントのレクチャーを受けて、いざ出発。森の木を伐るなんて初めてで、ワクワクドキドキ。先輩は、ノコギリもハサミも力まずスムーズに伐っている。私は、丁寧に教えて頂いているのに、細い木を1本伐るのに何度ギコギコしたことか。

でも、伐った木は爽やかでいい香り、ちょっぴり明るくなって、木漏れ日に新緑がキラキラ光ってきれい、山の爽やかな風も心地よくて、先輩方とのおしゃべりも楽しくて、想像以上のお試し体験させて頂きました。

ノコギリもハサミも、もっと上手にカッコ良く使えるようになりたい。木工にも挑戦してみたい。木の名前もいっぱい覚えたい。自然の中の新しい楽しみを見つけた気分です。これから、ゆっくり楽しく続けたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

齋藤 治子



小さな小技を試してみませんか？



木下 英吉

この時期、活動地での水分補給は欠かせませんね！！身近に置いておきたいものです。でも、地面に直接置くのはNG！！

そこで、木の枝(叉)に掛ける方法です。絵の下側は、S字管でぶら下げています。上側は、ボトルホルダーの手提げ部分を木の枝(叉)上部を越し、枝の切れ端を手提げ部分に通して、留めています。枝(叉)さえあれば、どこでも使えますので、是非やってみてください！！



7月例会



7月9日、
30名が集合です。

今月も、新会員3名が
仲間入り!!



午前中、この班は
修法ヶ原池南側の手入れに、
全集中!!

午後、自然観察組は
マツオウジを発見
ほのかに、マツタケの
香りがしましたよ !!



ドクダミの花で、ドクダミチンキをつくってみました

隈元 和美

6月28日、森の学校の苗圃にて、ドクダミの花を集めました。
ドクダミは、別名十薬とも呼ばれ、昔からその葉を乾燥させ、
煎じたドクダミ茶は、万病に効くとされ利用されてきました。
今回は、その花から殺菌力のあるドクダミチンキを作成。
虫刺されに効果を期待。10倍に薄めて、化粧水に利用。
独特の悪臭もなく、お肌の荒れに良いとされ、身をもって試用してみます。
結果は、いずれまた!!!



ドクダミの花を
乾燥させる



瓶に乾燥済みのドクダミの花を詰め 25 度
の焼酎をひたひたまで注ぐ。35度がベスト



冷蔵庫で熟成させること約一か月、茶色のドクダミチンキが完成!!



10倍に薄めてドクダミ化粧水も出来上がり!!

■ 前々回・前回の、月例会報告

日付	参加者	司会	森の手入れ	木工工作	自然観察	苗づくり
6月19日(日)	34名	脇田さん	17名	6名	7名	4名
7月9日(土)	30名	米山さん	14名	4名	8名	4名

■ 東お多福山草原再生・保全活動

7月13日(水) 参加者 全体 31名(森学 5名)

■ お知らせ掲示板

♣ こうべ森の小学校&森の幼稚園

♣ 摩耶の森クラブ

(活動日の問合せは、神戸市森林整備事務所に)

♣ ボランティア保険に加入していますか!?

森の手入れ作業中の事故に備えて「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済保険」への加入手続きをされていますか。掛金は500円の負担で、補償期間は4月1日から翌年3月31日までです。受付窓口は、お住いの市区町社会福祉協議会です



当日、6時55分のNHK-TVで、兵庫県南部の降水確率が60%以上の場合は、活動中止です

活動の開催予定

♣ 月例会

9月10日(土)・10月16日(日)、午前中は、全員で森の手入れ、午後は、森の手入れ・自然観察・木工・苗作りから、選択を予定しています。

♣ 火・木・土曜日にも、活動していますよ!!

こうべ森の学校は、発足当初から、物心両面にわたり、伊藤ハム株式会社の社会貢献活動の支援を受けて、運営しています。

< 編集後記 >

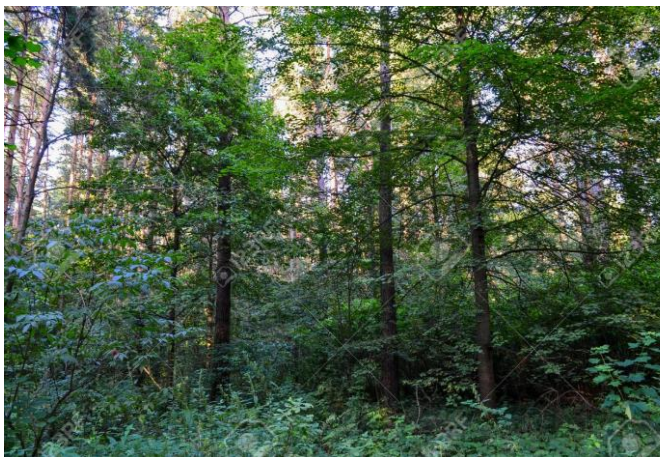
大沼 和世

このごろのウィークデイ(火・木・土)の森の手入れは、修法ヶ原池南側の、小高くなった辺り。その登り口は、車道から見えていて車道を渡ると、ちょうど大龍寺方面に行く道がある所と、もう一つはログハウスから、カフェを通過した先にあります。

相当長い間手入れをされないままであったらしく、うっそうと木々が茂り、伸び放題の木々に、登り口の階段も隠されてしまっていました。何回か手入れを続けると、登り口の階段が現れ、それを十数段で登り切ったら、幅の広い道が開けていて、びっくりしました。小高くなったその位置から、池が臨めたはずが、今ではつつじの細い枝がぎっしりと、しかも上にも伸び放題。それでこの辺りを手入れして、木の上の方を切り揃えて、池が臨めるようにしようかと計画中。

「あら! いい道があった! 」と、訪れた人がその道を登り、池を望む景色を楽しんでくれることを望みつつ、楽しんで手入れをしています。秋には、すっきり見違えるようになっているのではと、楽しみです。乞うご期待!

< ビフォー うっそうと木々が茂り >



< アフター 池を臨む(希望的観測ですが!!) >

